

未来創生ワークショップ 京丹後市総合計画審議会主催

※未来創生ワークショップの参加者に、

「京丹後市役所本庁機能の集約化」について～まちづくりにおける市役所の役割～と題して、意見を伺いました。以下、意見の要旨。

●**若者を対象としたワークショップ R2.10.9（金）19：00～21：00 参加者：19人**

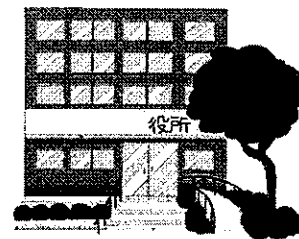
- ・職員の方が働きやすい環境にしてもらうのが一番いいんじゃないか。
働く場所も自由になっている時代なので、なぜ庁舎が必要なのか考えられるといい。
- ・行政がまちづくりに果たす役割は大きいので、庁舎整備の中に最先端の ICT 施設の整備があり、市民や事業者が利用できる環境、市民が集えるようなスペースが整備されるのであれば、今後のまちづくりを考えた時に有効と思う。
- ・10年後、20年後建て替え問題が起きると思うので、今のうちに合併特例債を使って、今やっておくべきところもあると思う。
- ・これからの時代を考えた時、行政サービスとは何か。物理的な場所が必要なのか。住民票をだす時、コンビニでだせるとか。どういう行政サービスが住民にとって必要なのか、市民が自分事で考えるきっかけになればより良い。
- ・ハードの話や有利な起債の話は、住民側はある意味、行政に任せている。もっと大事なのは、ソフトの面。コンビニで住民票が取れない、とか。人口が減ると、中央集権化しがち。事務を効率化し、余った人材や時間を地域へ還元できるか、という話も同時にあったらイメージしやすい。
- ・長野県では行政がショッピングセンターに入っていた。行政の機関が民間に入っていくケースもあったので、そういうのもいいかも。
- ・ハードを考えていく中で、象徴的なものが1つあったらいいのかなと思う
- ・今の施設がどれくらい使えて、どういう所がダメなので集約しなければいけないのか、が分からない。最終コスパの比較があると分かりやすいが、無いので分かりづらい。

●**女性を対象としたワークショップ R2.10.10（土）10：00～11：45 参加者：17人**

- ・市の仕事のことがよく分からないので、本庁部局が一緒にあっても、なくてもどちらでもいいです。
- ・子どもの通学路が狭くて怖いとか、夏が暑すぎて通学バスを出して欲しいとか、そういう要望が出た時に、それをするのにこれだけの予算がかかって何年かかるとか、そういうことを知れたら市の仕事が近く感じれると思います。実際、何の仕事をしているのか分からないので、どこの場所にあったらいいのかとか、正直分かりません。
- ・この10年、本庁に用事があったことは無いです。久美浜庁舎で全て済んでいます。お年寄りの方が行けるような場所から庁舎が無くなるようなことはやめて欲しい。
- ・丹波小学校に健康長寿福祉部が行き、赤ちゃんの検診とかもそこになるようななら、行きにくい。峰山、大宮の人以外が行きにくい。丹波小の前は大きなカーブあって、危ないのでは。

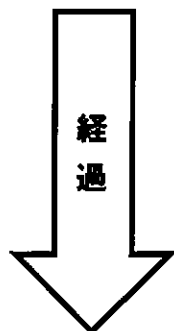
「京丹後市役所本庁機能の集約化」について

～まちづくりにおける市役所の役割～



現状

平成16年の合併以来、本庁部局は峰山庁舎、大宮庁舎、網野庁舎に分散配置



- H24. 2. 9 京丹後市まちづくり委員会「分庁舎方式の今後の在り方について」答申
- H25. 10. 29 京丹後市行政評価委員会が「京丹後市外部評価報告書」を市長に提出
- H26. 12. 25 「第3次京丹後市行財政改革大綱」議会議決
- H27. 2. 5 「京丹後市役所本庁舎整備検討委員会条例」議会議決
- H27. 3. 19 「京丹後市役所本庁機能集約化基本方針」策定
- H30. 2. 28 「京丹後市役所本庁舎整備検討委員会条例」廃止
- R2. 7. 13 「京丹後市庁舎整備検討委員会条例」議会議決

庁舎整備検討委員会で審議中

これまでの計画

○庁舎整備（増築棟建築）

峰山庁舎に増築棟を建築し、本庁部局は峰山庁舎、増築棟、峰山総合福祉センター、大宮庁舎（教育委員会のみ）に集約化。

○再配置計画

今ある施設を活用し、経費をなるべく抑えるため、旧丹波小学校を活用。本庁部局は峰山庁舎、峰山総合福祉センター、旧丹波小学校、大宮庁舎に集約化。 ※大宮庁舎には教育委員会、上下水道、農林水産を配置

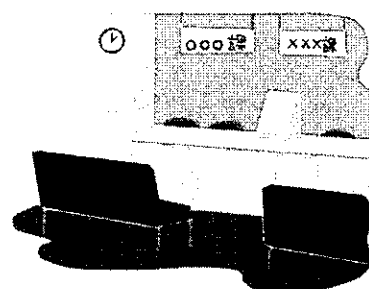
※市民局は引き続き6市民局を配置

※令和6年度までは、有利な財源（合併特例債）が活用可能

Q1. まちづくりにおける市役所の役割について、どのように考えますか？

Q2. 市役所の本庁部局が分散していることについて、どう思いますか？

Q3. 市役所の場所について、どう思いますか？








庁舎等の概要

	峰山庁舎	大宮庁舎	峰山総合福祉センター	増築棟	旧丹波小
竣工年(築年数) ※R2年度末	H4 (29年)	H11 (22年)	S39 (56年)	—	S53 (42年)
構造	鉄筋コンクリート造4階建	鉄筋コンクリート造4階建	鉄筋コンクリート造2階建	鉄筋コンクリート造4階建	鉄筋コンクリート造2階建
延床面積	3,858㎡	4,117㎡	2,205㎡	4,860㎡	2,558㎡
早期に必要な 改修工事 ※注1	空調改修、外壁改修、屋 上防水改修	空調改修	外壁改修、屋上防水改 修、耐震改修、空調改修	—	—
増築棟計画時の 配置部局 ※当時の部局名	議会議事事務局、秘書広報広 聴課、企画総務部、財務 部、市民部、医療部、会 計課	教育委員会事務局	健康長寿福祉部	監査委員事務局、農林水 産環境部、農業委員会事 務局、商工観光部、建設 部、上下水道部	—
再配置計画時の 配置部局 ※当時の部局名	議会議事事務局、市長公室、 総務部、市民環境部、医 療部、会計課、監査委員 事務局	農林水産部、農業委員会 事務局、上下水道部、教 育委員会事務局	商工観光部、建設部	—	健康長寿福祉部




※注1…早期に必要な改修工事について、各改修工事を単独で実施する場合は、経年劣化による庁舎の維持補修工事となり、合併特例債は活用できないが、庁舎再配置と一体で改修することで合併特例債を活用できる。

〈これまでの計画による本庁機能の集約化 イメージ図 1 (増築棟)〉

【集約化前（現行）】

<p>① 峰山庁舎</p> 	<p>議会議務局 秘書広報広聴課 企画総務部 財務部 市民部 医療部 会計課 監査委員事務局</p>
<p>② 大宮庁舎</p> 	<p>農林水産環境部 農業委員会事務局 教育委員会事務局</p>
<p>③ 網野庁舎 (旧役場庁舎)</p> 	<p>商工観光部 建設部 上下水道部</p>
<p>④ 丹後庁舎</p> 	<p>農林水産環境部 海業水産課</p>
<p>⑤ 福祉事務所</p> 	<p>健康長寿福祉部</p>

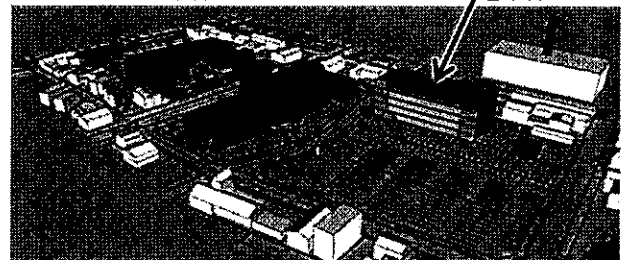
【集約化後】

<p>① 峰山庁舎</p>  <p style="text-align: center;">+</p> <div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 50px; margin: 0 auto; text-align: center; padding: 5px;">増築棟</div>	<p>議会議務局 秘書広報広聴課 企画総務部 財務部 市民部 医療部 会計課 監査委員事務局 農林水産環境部 (海業水産課) 農業委員会事務局 商工観光部 建設部 上下水道部</p>
<p>② 大宮庁舎</p> 	<p>教育委員会事務局</p>
<p>⑤ 福祉事務所</p> 	<p>健康長寿福祉部</p>

集約化







※⑤福祉事務所は、現行のとおり

※参考：増築棟イメージ







〈これまでの計画による本庁機能の集約化 イメージ図 2 (再配置)〉

【集約化前】

<p>① 峰山庁舎</p> 	<p>議会議務局 市長公室 総務部 市民環境部 医療部 会計課 監査委員事務局</p>
<p>② 峰山総合福祉センター</p> 	<p>健康長寿福祉部</p>
<p>③ 大宮庁舎</p> 	<p>農林水産部 教育委員会事務局 農業委員会事務局</p>
<p>④ 網野庁舎 (旧役場庁舎)</p> 	<p>建設部</p>
<p>⑤ 網野庁舎 (ら・ぽーと)</p> 	<p>商工観光部</p>
<p>⑥ 丹後庁舎</p> 	<p>上下水道部</p>

集約化

【集約化後】

<p>① 峰山庁舎</p> 	<p>議会議務局 市長公室 総務部 市民環境部 医療部 会計課 監査委員事務局</p>
<p>② 峰山総合福祉センター</p> 	<p>商工観光部 建設部</p>
<p>③ 大宮庁舎</p> 	<p>農林水産部 上下水道部 教育委員会事務局 農業委員会事務局</p>
<p>④ 旧丹波小学校</p> 	<p>健康長寿福祉部</p>

増築棟建設概算事業費（合併特例債を最大限に活用した場合）

（試算の前提）

- ・増築棟は建設しない方針であるが、増築棟と他の施設を同時期に一体的に整備するもの仮定した。
- ・増築棟建設概算事業費欄の事業実施については、実際の工事実施の可否判断を考慮していない。
（例）総合福祉センターで執務しながらの耐震化工事や空調変更工事などが出来るかどうかの判断は考慮していない。
- ・合併特例債の活用可否は不透明であるが、引越及び備品購入経費以外は全て市債の対象とした。
（例）大官庁舎の本庁部局は、教育委員会事務局のみとなり機能縮小となる施設となるが、本試算では市債対象としている。
- ・増築棟の基本設計は、平成28年度で実施済のため市債の対象外とした。

（留意事項）

- ・基本設計概算事業費についても基本設計をベースに試算したもののため、今後の実施設計等の段階では増減する場合がある。

		基本設計概算事業費		増築棟建設概算事業費（合併債最大）	
		現在の計画		増築棟建設概算事業費に、現計画の峰山、大官庁舎、峰山総合福祉センターの維持経費、五箇小庫庫化経費等を合算したもの。	
施設	区分	概算工事費	工事内容	概算工事費	工事内容
増築棟 階数：4F 延床面積：4,900㎡	全体事業費			2,339,647	新棟建設
	うち特例債対象			2,199,486	引越費、備品費対象外
峰山庁舎	全体事業費	397,089		351,989	
	うち特例債対象	397,089		351,989	
峰山総合福祉センター	全体事業費	446,564		310,049	
	うち特例債対象	425,576	引越費、備品費対象外	310,049	
旧丹波小学校	全体事業費	904,505	移転改修、EV新設、自家発電新設、空調改修、便所改修、駐車場整備、プール解体、玄関廻り屋根新設、駐車場整備		
	うち特例債対象	830,983	引越費、備品費対象外		
大官庁舎	全体事業費	233,282		137,774	
	うち特例債対象	225,604	引越費、備品費対象外	137,774	
網野庁舎（本館・別館B・他倉庫）	全体事業費	292,246	解体工事	292,246	解体工事
	うち特例債対象	292,246		292,246	
旧五箇小学校	全体事業費	84,430	公文書保管倉庫整備	84,430	公文書保管倉庫整備
	うち特例債対象	57,380	引越費、備品費対象外	57,380	引越費、備品費対象外
旧峰山幼稚園	全体事業費	46,250	駐車場整備	46,250	駐車場整備
	うち特例債対象	46,250		46,250	
丹後文化会館駐車場	全体事業費			132,772	駐車場整備
	うち特例債対象			132,772	
旧吉原小グラウンド	全体事業費			122,607	駐車場整備
	うち特例債対象			122,607	
基本設計	全体事業費	15,962		12,827	H28決算数値
	うち特例債対象	15,962		0	
総事業費	全体事業費	2,420,328	約24.2億円	3,830,591	約38.3億円
	うち特例債対象	2,291,090	約22.9億円	3,650,553	約36.5億円
	起債対象外	129,238	約1.3億円	180,038	約1.8億円
財源内訳	合併特例債	2,176,500	約21.8億円	3,468,000	約34.7億円
	一般財源 A	243,828	約2.4億円	362,591	約3.6億円

※合併特例債は、都合上、全体事業費のうちの特例債対象総額に充当率を乗じて算出

（参考）合併特例債償還金の試算

合併債償還額 ①	2,538,194	約25.4億円	4,044,317	約40.4億円
うち交付税算入 ②	1,776,736	約17.8億円	2,831,022	約28.3億円
負担額①-② B	761,458	約7.6億円	1,213,295	約12.1億円

※合併特例債償還金試算…償還20年、利率1.5%、元金均等償還、元金据置2年で試算

実質負担額 A+B	1,005,286	約10.1億円	1,575,886	約15.8億円
-----------	-----------	---------	-----------	---------